



千代田区障害者就労支援センター通信

ちよだジョブコーチジャーナル

働くことを応援する

No.59

～ダイバーシティ&インクルージョンにおける障害者雇用～



●人事総務部 ジェネラルサポート サポートマネージャー宮崎恵美子氏



●障害のある方がキット梱包しているロクシタン製品

ロクシタンジャパン株式会社

全世界で3000店舗、日本国内でも120店舗を超えるお店を展開しているL'OCCITANE(ロクシタン)。多様で豊かな自然からなる南フランスプロヴァンス地方発祥のライフスタイルコスメティックブランドです。黄色で統一されたロゴ、渋谷のスクランブル交差点にある象徴的なカフェなど、みなさんも一度は、その製品を手にとったり、目にしたという方も多いのではないのでしょうか。今回は、そのブランドを運営するロクシタンジャパン株式会社を訪問し、ダイバーシティ&インクルージョンにおける障害者雇用についてお話を伺ってきました。

●ブランドを支える一貫した取り組みと多様な人材

ロクシタンが扱っているブランド製品は自然の豊かな恵みからなる商品ですが、それは単に優れた効果・効能を伝えるだけにとどまりません。そのコスメからは、南フランスの豊かな自然、環境を大切に敬い、文化と伝統を尊重し、毎日、心豊かに暮らせるような想いがただよってきます。品質の高い製品や製品に込められた想い、企業ブランドを支え続けるには、地球環境を汚さないという強い信念があります。近年ではSDGsやESG経営、サステナビリティ経営について語られることも多いですが、ブランド創設当初から自然豊かな製品を生み出すと同時に、環境や社会に配慮した様々な取り組みが行われています。プラスチックの削減、植木活動、フェアトレード、カーボンニュートラルなど、企業として利益を上げながらも、社会環境や自然に配慮した施策が行われています。

製品販売だけでなく、このようなブランドを支え続ける取り組みには、多様な人材の活躍が、その裏にはあると取材を通じて感じました。ロクシタンでは、世界各国の代表が一堂に集まり、その国のダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンへの取り組みや調査結果を共有する場があります。女性の比率、国籍、人種、LGBTQ、雇用環境など多様性向上のための測定可能な目標と今後のアクションプランを策定しています。もちろん、障害者雇用についてもその例外ではありません。

●ダイバーシティ&インクルージョンにおける障害者雇用について

現在、ロクシタンジャパン株式会社では、東京本社だけではなく、川崎にある物流倉庫、各ショップで障害のある方が働いています。以前は、業務の一部がアジアへ移転することに伴い、障害者の雇用率が落ち込んでしまったこともあります。しかし、試行錯誤を重ねながら今の雇用率まで達成されています。

では、単に雇用率を達成するだけではなく、障害のある社員がより活躍し、充実感を持ち、長く働き続けるためにはどうすればよいのでしょうか。何か課題や離職があると、障害のある方だけに焦点を当ててしまいがちになりますが、必ずしもそうではないと話されます。障害のある方は、個別性を持ち、その困り感も異なります。コミュニケーションや、仕事のお願いの仕方など、企業が配慮しなければならないことも人それぞれ異なってきます。そこで重要になってくるものの一つが、社員教育ではないかと話されます。重要な点は、片方の理解ではなく、双方向の理解が大切

であり、社内研修により様々な背景を持った社員全員が活躍できるような職場環境を整えているそうです。

●社内で認知を上げていくこと、エンゲージメント

今では様々な業務の依頼を受けて、その仕事の幅も広がっており、障害のある社員の認知度や重要感が上がってきています。当初は、こんな仕事は無理かもしれないとマネジメントする側が仕事の受注を制限していたこともあったそうです。チャレンジしてみると社員の潜在的な力に気がつきました。そうすると、また一つ、また一つと仕事が増えていき、給湯室などで行なった何気ない会話から仕事の受注につながることもあるそうです。そのような地道な社内営業の結果が、今の社員の活躍につながっています。このような取り組みがあったからこそ、相互の理解が進み、インクルーシブな職場に繋がっていると取材を通じて感じました。

また、従業員のエンゲージメント施策としては、1オン1ミーティングの他、社員で外出する企画を立て、実施することや、全世界のロクシタングループの取り組みであるチャリティウォークイベント「Move for People」にチームで参加し、皇居を一周し、全員で完歩しました。

●今後の取り組みについて

今後は、2023年1月（取材時2022年末）には、フランス本社と合同で障害者雇用の成功事例を共有する機会があり、日本の取り組みとの違いや、次の障害者雇用の施策に生かし

ていくミーティングが行われる予定です。グローバルから見た日本の障害者雇用の位置付けや、各国の取り組みがどのようなものか、大変興味深く、今後のロクシタングジャポンの活動に是非、注目していきたいと思います。

●取材を終えて

取材を終え、どのような視点で記事を書こうか迷うほど、様々なお話を伺いました。最後に取材を受けて下さった方の一人、本社の障害のある方のマネジメントをされている宮崎恵美子氏を紹介したいと思います。元々は、自社のカスタマーサービスのプロフェッショナルであると取材の当日に知りました。長くお客様対応や、課題解決に取り組みされており、そこで培われたスキルや経験を障害のある方のマネジメントにも存分に発揮しておられます。これこそが多様な人材が、多様な分野で、新たな価値を創造していくことなのだと思われ、取材を終えて改めて感じました。宮崎氏のような人材が活躍されていることからわかるように、ロクシタングジャポンの一貫したダイバーシティの取り組みに感心せざるをえない取材となりました。

（インタビュー・構成：今井 悠渡）

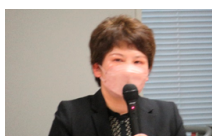
【会社概要】

ロクシタングジャポ株式会社
所在：東京都千代田区麹町 1-6-4
住友不動産半蔵門駅前ビル 10階
フランス発祥のオーガニックコスメブランド、植物原料を主原料に化粧品ヘアケア・フレグランスなどを製造・販売ならびにカフェを運営しています。
<https://jp.loccitane.com>

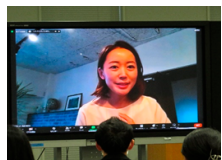


EVENT × NEWS

令和4年度第2回地域交流会 障害のある方の「働く」について考える ～多様な方が共に働く場ソーシャルファーム～



公益財団法人東京しごと財団
企業支援部雇用環境整備課
山本 あずみ 氏



一般社団法人アプローズ
代表理事 光枝 茉莉子 氏

今回の交流会は2部構成で行い、第1部ではソーシャルファームについて理解を深めるため、公益財団法人東京しごと財団の山本氏にご登壇いただきました。東京都のソーシャルファームへの取り組みや、動画ではソーシャルファーム事業を行っている企業の感想や、実際に働いている様子などを知ることができました。第2部では、一般社団法人光枝氏よりオンラインにてご登壇いただき、ソーシャルファーム事業の立ち上げから、取り組み、アプローズガーデンで働くスタッフの事例を挙げながらお話いただきました。それぞれが協力し合う関係や、自分のペースを大切にしながら働き続けられる環境を大切にしていきたいと、これからの取り組みについてお話がありました。

千代田区自立訓練（生活訓練）ランパートアカデミー ～選べる支援スタイルと完全個別カリキュラム～

ランパートアカデミーは昨年4月にオープンした自立訓練（生活訓練）です。通所・オンライン・訪問の3つの利用スタイルで、ご自身の状況に合わせた完全個別のカリキュラムを作成。興味のあるテーマに絞った日中活動に取り組みます。人気があるのは調理カリキュラム。一汁一菜を用意する体験を日々重ねながら、片付けや掃除など家事全般に慣れていきます。電子レンジだけで作るパスタなど、超簡単レシピにもどんどんトライしています。また、メイクの個人レッスンがあり、上手な洗髪・スキンケア・眉のお手入れなど男女ともに対応。動画を見ながら筋トレやストレッチで姿勢を整えることもあり、見た目の印象もアップします。

他にも、資格取得やPCスキル向上を目指し勉強に打ち込む、アート作品制作に取り組むという方も。昨年末には、絵の才能のある方が施設内で個展開催を実現しました。楽しいカリキュラムに参加することで自然と生活リズムを整え、社会参加へとつながっていただければ嬉しいです。

お問合せ：10:00～17:00（日曜日除く） TEL 0120-985-760

<https://rampart-a.jp/> 最寄駅：秋葉原・岩本町・小伝馬町



就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153 FAX：03-3556-1223

E-mail：chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

発行：千代田区障害者就労支援センター 2022年度第59号（令和5年3月6日発行）
取材協力：ロクシタングジャポ株式会社
毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。